

# 討論

討論とは…

自分の意見（賛成または反対）を表明し、その意見に反対する議員、賛否の意思を決めていない議員を、自分の意見に賛同させることを目的に行うものです。

請願第5-2号

**反対** 公明党 植木伸寿議員

介護保険制度の利用者は、設立当初比で3・5倍に増加している。また、介護職員の確保なども課題である。改善に向けては、これまでの審議会で積み上げられた議論により利用者本位に進めることが求められる。

請願第5-3号

**賛成** 阿部功志議員

物価高、低賃金の中で、フリーランスや個人事業主の多くがこの制度につぶされ、失業・廃業のリスクを背負うようになる。生活弱者いじめ、冷たい政治の典型の制度。良いと言えない人は弱い立場の人への想像力が働かない。

**賛成** 光風会 恵利いつ議員

税の公平公正は大切だが、いまだ制度内容の周知が不十分。個人事業主やフリーランスを中心に大混乱を招いている。現状で無理に進めることは、マイナンバーカードの二の舞い、国全体が混乱することになりかねない。

**賛成** 大名美恵子議員

利用料引き上げや介護はずしをやめ、職員の処遇を改善するために、介護保険財政への国庫負担の引き上げを求める請願に賛同する。住民の声を意見書として国に提出するのが地方議会の役割。

**反対** 公明党 岡崎 悟議員

国に納めるべき消費税が事業者の手元に残る「益税」の解消が必要。中小事業者やフリーランスに対して、激変緩和措置が適用され、制度開始後3年間は、納付額を売り上げに係る消費税額の20%に軽減する。

**反対** 新政とうかい 三上 修議員

インボイス制度は、消費者から預かった消費税を課税事業者が納税する制度。日々の消費で消費税を無条件で支払う年収106万円以下の労働者、低所得者や年金受給者を思う時、収税に有効な手段であり本請願に反対。

**反対** 新政とうかい 笹嶋 士郎議員

介護保険料等の負担軽減や介護保険財政の国庫負担割合の大幅な引上げを求めている。しかし、介護保険制度は、国の審議会で十分検討を行っており、国庫負担割合の引上げは、国の財政が厳しい状況では認められない。

**賛成** 大名美恵子議員

不採択とする理由は「益税となる預かり金解消の取組みとしてインボイス制度は必要」とのことだが、今年2月10日の衆議院内閣委員会でも「消費税は預かり金ではないため、益税は存在しない」ことを政府が認めている。



議案第43号

**反対** 大名美恵子議員

今では須和間幼稚園施設の新たな活用案を示される時期となったが、幼稚園を1園に統合する方針及び議会にも住民にもあまりに突然だった20年9月11日の庁議決定は認められない。

**反対** 村上 孝議員

石神幼稚園は令和7年度末に廃止と保護者や地域住民に一切の説明、協議なく一方的に通知。令和3年に保護者や自治会が存続請願、署名簿1084名を添えモデル幼稚園として存続を要望。特色ある幼児教育を。

議案第48号

**反対** 大名美恵子議員

神楽沢近隣公園の管理運営を、職員の仕事負担軽減と維持管理費削減を理由に営利企業等に委ねることは反対。公の施設の役割は「住民の福祉を増進」すること。職員は住民と直接触れ合いながら公務を果たすことが重要。